

2025年3月期 第1四半期決算説明資料

証券コード：5332

TOTO株式会社

2024. 7.31

日本住設事業

- ◆100年にわたり築き上げた基幹事業
- ◆水まわりの住宅設備を製造・販売
- ◆新築需要に依存しない経営体質の転換を目指し、30年近くにわたり、リフォーム需要を創出



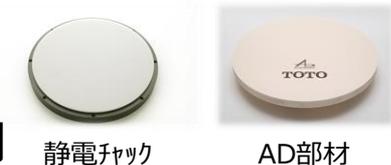
海外住設事業

- ◆米州、アジア・オセアニア、中国大陸、欧州において水まわりの住宅設備を製造・販売し、その国・地域にとって必要な存在になることを目指す
- ◆ウォシュレット・節水便器を軸に据え、特に米州とアジア・オセアニアは今後の成長ドライバー



新領域事業

- ◆衛生陶器で培った技術やノウハウを半導体分野にも活用
- ◆半導体やフラットパネルディスプレイの製造装置向けのセラミック商品を展開
- ◆米州、アジア・オセアニアと並び、今後の成長ドライバー



2025年3月期 第1四半期 決算

増収増益

日本住設事業：増収増益

- ◆外部調達コスト等の影響はあったものの、価格改定効果等で増収増益。
- ◆売上高、営業利益ともに概ね計画通りの進捗。

海外住設事業：増収増益

- ◆米州事業は中古住宅販売戸数は前年割れも、ウォシュレットの拡販等により増収増益。
- ◆アジア事業はベトナムは市況悪化影響が継続しているものの、台湾地域は市況が好調に推移しており、全体として増収増益。
- ◆中国大陸事業は、市況低迷影響の継続により減収減益。
- ◆売上高、営業利益ともに概ね計画通りの進捗。

新領域事業：増収増益

- ◆23年度下期を底に半導体市況は回復傾向の中、為替の影響及び高歩留の維持等もあり増収増益。
- ◆売上高、営業利益ともに計画以上の進捗。

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差 (前年比)
売上高	1,566	1,645	+79 (105%)	+51	+28 (102%)
営業利益 【営業利益率】	40 【2.6%】	98 【6.0%】	+58 (2.5倍)	+6	+52 (2.3倍)
経常利益	93	144	+50 (154%)	▲3	+54 (157%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	57	87	+30 (153%)	▲5	+35 (161%)

■ 為替レート (期中平均)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q
1ドル	132.4円	148.6円
1元	19.4円	20.6円
1ユーロ	142.2円	161.3円
1台湾ドル	4.4円	4.7円
1ドン	0.0056円	0.0060円

增收増益

セグメント別業績

単位：億円

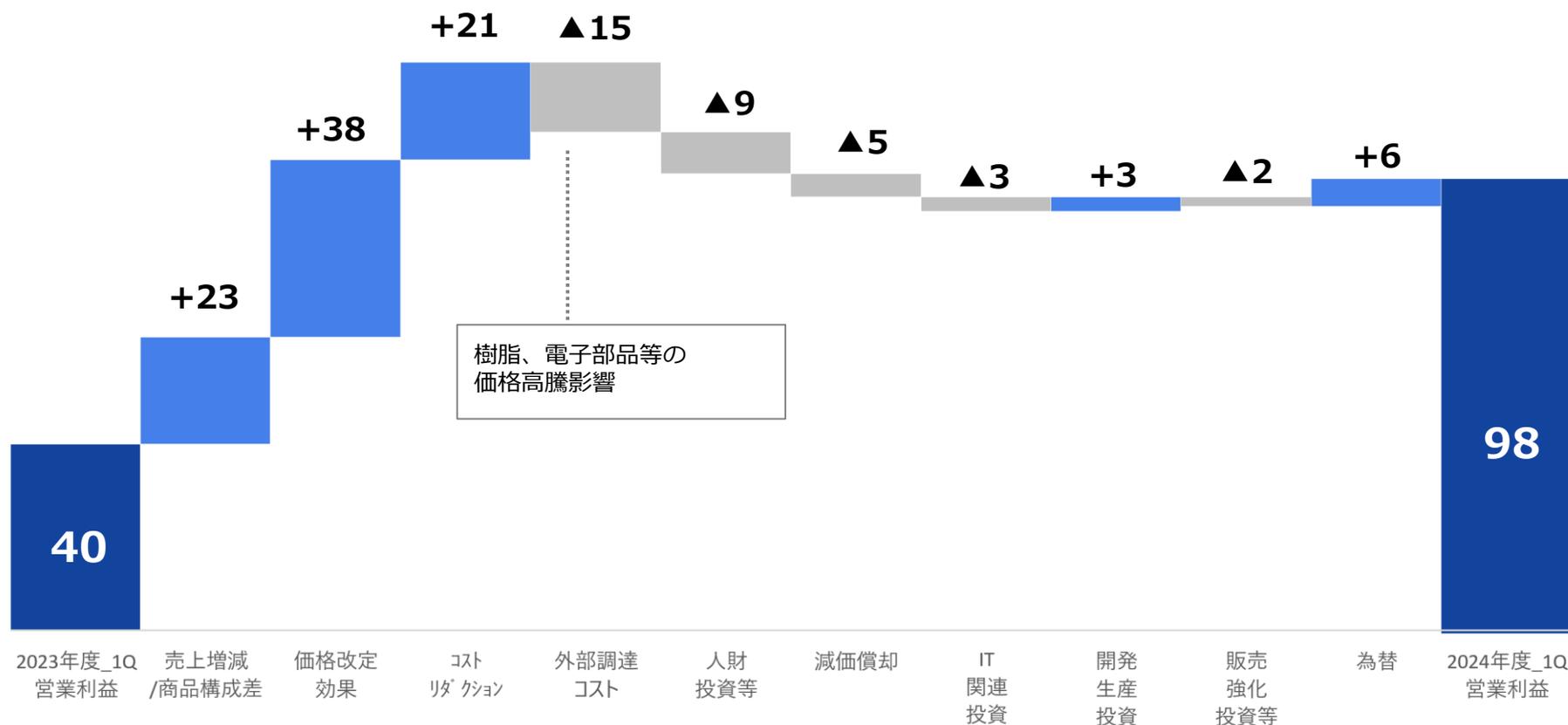
<売上高>	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差 (前年比)
日本住設	1,076	1,095	+19 (102%)		+19 (102%)
海外住設	396	442	+46 (112%)	+38	+8 (102%)
新領域	94	108	+14 (115%)	+13	+1 (101%)
その他	1	1	+0		+0
合計	1,566	1,645	+79 (105%)	+51	+28 (102%)

<営業利益>	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差 (前年比)
日本住設	20	25	+6 (128%)	▲9	+15 (175%)
海外住設	▲1	31	+32	+2	+30
新領域	26	47	+21 (180%)	+14	+7 (128%)
その他	▲5	▲6	▲1		▲1
合計	40	98	+58 (2.5倍)	+6	+52 (2.3倍)

全ての事業において増収増益。

全社営業利益の増減要因

単位：億円



外部調達コストや人財投資等の影響はあったものの、
価格改定効果やコストリダクションにより増益。

日本住設事業：需要別業績

リモデル（前年比）

売上高 770 億円（105%）
営業利益 29 億円（+5 億円）

新築（前年比）

売上高 325 億円（94%）
営業利益 ▲4 億円（+1 億円）

■ リモデル提案強化

新商品：システムバスルーム・シンラ



24年8月発売。スマートタッチ水栓や、スマートタッチリモコンを更に進化させ、上質感と心地よさを実現。

ショールームリニューアル



練馬区
石神井ショールーム

2か所のショールームを統合し新設オープン。増床でリモデル後の「憧れの暮らし」空間を拡充。

リモデルは価格改定効果等により増収増益。
新築は住宅着工減少影響もあり減収。赤字幅は縮小。

売上高	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前年差 (前年比)	為替影響額	為替影響除 前年差 (前年比)
米州事業	131	166	+35 (127%)	+18	+17 (113%)
アジア事業	86	109	+23 (127%)	+9	+14 (117%)
中国大陸事業	165	155	▲10 (94%)	+10	▲20 (88%)
欧州事業	14	12	▲2 (86%)	+1	▲3 (76%)
合計	396	442	+46 (112%)	+38	+8 (102%)

営業利益	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前年差 (前年比)	為替影響額	為替影響除 前年差 (前年比)
米州事業	▲2	9	+11	+1	+10
アジア事業	1	20	+19 (20倍)	+1	+18 (19倍)
中国大陸事業	3	4	+0 (110%)	+0	▲0 (99%)
欧州事業	▲3	▲1	+2	▲0	+2
合計	▲1	31	+32	+2	+30

海外住設事業全体で増収増益。

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

売上高（前年比）

112 百万ドル（113%）

営業利益（前年差）

4 百万ドル（+6 百万ドル）

2024年度_2Q(2024年_4月～6月)の売上高伸長率：前年比 123%

■ 商品別伸長率

		前年比	売上高 構成比
売上高	衛生陶器	114%	50%
	温水洗浄便座 「ウォシュレット」	117%	34%
	水栓金具	108%	10%
販売台数	温水洗浄便座 「ウォシュレット」	120%	

ウォシュレット販売台数
2024年度_2Q（2024年_4月～6月）前年比：137%

■ 市況の動向

中古住宅販売戸数は1Qで前年比96%。（納入時期ベース）

■ チャネル別：ウォシュレット販売状況

| K&B（Kitchen & Bath Shop）

ショールーム展示・提案の質向上等の施策を実施。

| eコマース

プロモーション効果等により、売上・シェア共に好調に推移。

| リテール多店舗店

TOTO品取扱い店舗数と店舗あたり売上拡大で好調に推移。



中古住宅販売戸数は前年割れも、ウォシュレットの拡販等により増収増益。

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

台湾地域

売上高 (前年比) **1,397** 百万台湾ドル (124%)

営業利益 (前年差) **303** 百万台湾ドル (+172 百万台湾ドル)

2024年度_2Q (2024年_4月~6月)の売上高伸長率 前年比 115%

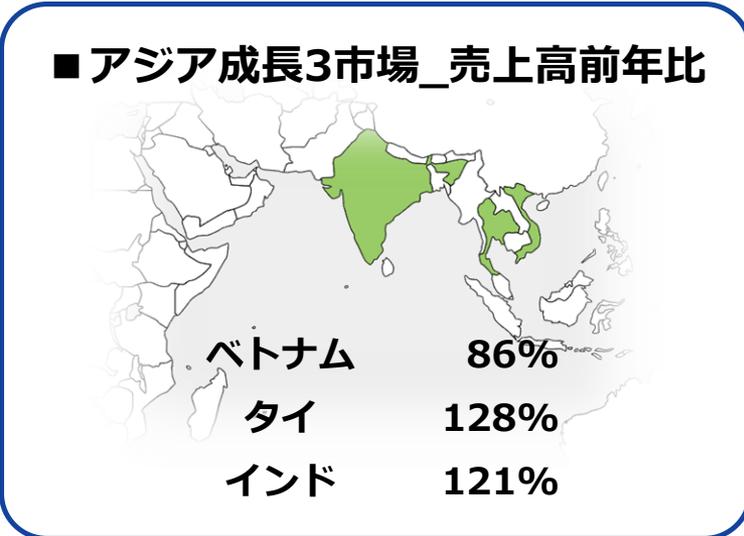
ベトナム

売上高 (前年比) **8,558** 億ドン (119%)
外部売上高 1,757 億ドン (86%)

営業利益 (前年差) **▲802** 億ドン (+169 億ドン)

2024年度_2Q(2024年_4月~6月)
外部顧客売上高伸長率 前年比 61%

■台湾地域 ウォシュレット：販売台数伸長（指数）



台湾地域は、市況が好調に推移し増収増益。
ベトナムは、市況悪化影響は継続も、グループ内売上高増で増収赤字幅縮小。

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

売上高（前年比）

750 百万元（88%）

営業利益（前年差）

29 百万元（▲3 百万元）

2024年度_2Q(2024年_4月～6月)の売上高伸長率：前年比 82%

■ 商品別伸長率

		前年比	売上高 構成比
売上高	衛生陶器	92%	46%
	温水洗浄便座 「ウォシュレット」	97%	28%
	水栓金具	71%	20%
販売台数	温水洗浄便座 「ウォシュレット」	93%	

ウォシュレット販売台数
2024年度_2Q（2024年_4月～6月）前年比：78%

■ 市況の動向

2024年1～3月累計・一線都市計（上海・北京・広州・深圳）
新築住宅販売戸数：前年比 61%
中古住宅販売戸数：前年比 79%

■ TOTOのリモデル事業への取組み

水まわり設備の国際見本市に
リモデル訴求コーナー初展示

名称：Kitchen&Bath China 2024
場所：中国・上海
日程：5月14日～17日



市況低迷影響の継続により減収減益。

売上高（前年比）

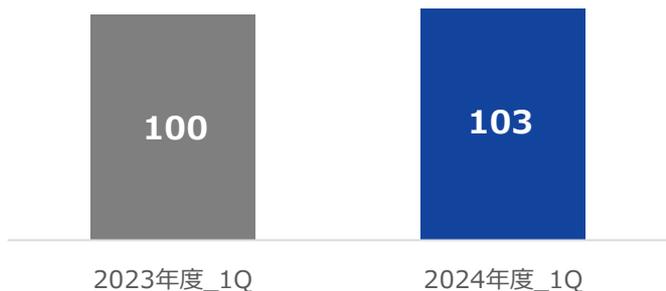
7 百万ユーロ（75%）

営業利益（前年差）

▲0.1 百万ユーロ（+1 百万ユーロ）

2024年度_2Q(2024年_4月～6月)の売上高伸長率：前年比 89%

■ウォシュレット 販売台数伸長（指数）



2024年度_2Q（2024年_4月～6月） 前年比：123

■ Clerkenwell design week（イギリス）

デザイン、建築の世界最重要エリアにあるTOTOロンドンショールームで毎年行われるイベント。建築業者等との関係構築の場となっている。

日本ブランドを前面に出し、技術と伝統を融合訴求



ワークショップ



ショールームイベント

販売網の拡充と著名物件採用を推進するも
不動産市況の弱含み影響で減収。赤字幅は縮小。

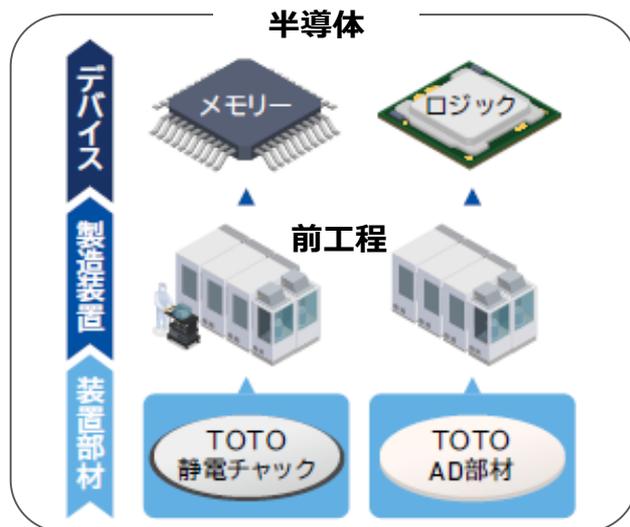
売上高（前年比）

108 億円（115%）

営業利益（前年差）

47 億円（+21 億円）

<主力商品概要（静電チャック・AD部材）>



[静電チャック]
新規・交換
両方の需要あり

<主力商品・各需要の状況>

| 静電チャック：

データセンター需要増等に伴う半導体市況回復により増収。

【新規需要】

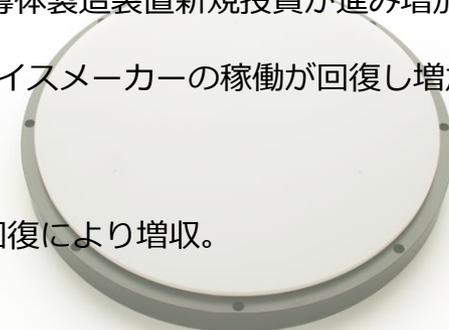
24年度より各社の半導体製造装置新規投資が進み増加。

【交換需要】

23年度4Qを底にデバイスメーカーの稼働が回復し増加。

| AD部材：

ロジック半導体市況回復により増収。



23年度下期を底に半導体市況は回復傾向の中、
為替影響及び高効率の生産体制による歩留の維持等で増収増益。

トピックス

トピックス：社外からの評価

社会的責任投資指数「FTSE4Good Index Series」 構成銘柄に9年連続で選定



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

■ その他_GPIFが採用するESG投資指数



MORNINGSTAR GenDi J

Japan ex-REIT Gender Diversity
Tilt Index

TOP CONSTITUENT 2024

サステナビリティに配慮した経営・情報開示が社外から評価された。

参考

【参考】日本住設事業：商品別業績

単位：億円

	売上高			営業利益		
	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前年差 (前年比)	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前年差 (前年比)
衛生陶器	218	225	+7 (103%)	6	8	+2 (128%)
温水洗浄便座 「ウォシュレット」	221	241	+20 (109%)	12	22	+10 (182%)
水栓機器	203	205	+2 (101%)	▲2	4	+6
浴室	285	276	▲9 (97%)	7	3	▲4 (43%)
キッチン・洗面	119	117	▲3 (98%)	▲1	▲2	▲1
その他	30	30	+0 (100%)	▲3	▲9	▲6
合計	1,076	1,095	+19 (102%)	20	25	+6 (128%)

このプレゼンテーション資料は、2024年7月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO